

外国語学部（英米）〔英語〕

A I（その1）

1-C 2-A 3-C 4-C 5-D 6-A 7-A 8-C 9-C
10-C 11-C 12-A 13-B 14-A 15-B 16-A 17-D 18-D
19-B 20-B

A II

21-A 22-A 23-B 24-C 25-B 26-A 27-B 28-D

A III

29-B 30-A 31-B 32-C 33-D 34-A 35-B 36-A 37-D
38-D 39-B 40-D 41-C

A IV（その2）

49-A 50-D 51-C 52-C 53-D 54-A 55-C 56-C 57-B
58-D 59-B 60-D 61-C 62-B 63-D 64-A 65-B 66-B
67-B 68-B 69-A 70-B 71-A 72-B

英語 外国語学部（英米）

＜全体分析＞		試験時間	90分
解答形式 全問マーク式			
分量・難易（前年比較）		分量（減少・ 変化なし ・増加） 難易（ 易化 ・ 変化なし ・難化）	
出題の特徴 文法・語法の区別、長文総合、中文の空所補充など、標準的な私大の問題に加えてリスニングが出題される。			
その他トピックス			

＜大問分析＞

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
AI	文法・語法		四択の空所補充問題 20問	標準
AII	読解総合	「風水の思想」 (855words)	空所補充問題、内容真偽問題、パラフレース問題、文補充問題 計8問	標準
AIII	読解総合	「オーブンブラン事務所の効果」 (245words)	中文の空所補充 13箇所	標準
AIV	聞き取り		(A)短めの会話・アナウンスに関する質問に対する答えを選ぶ問題 10問 (B)長めの会話に関する質問に対する答えを選ぶ問題 2題(計5問) (C)長めの会話に関する質問に TRUE/FALSE で答える問題 2題(計9問) ※(A)～(C)いずれも放送は一回	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」
難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

＜学習対策＞

基本的な文法・語法問題を数多く演習して、関係詞や準動詞、仮定法、比較表現など頻出の文法事項をしっかり押さえておくこと。
中文および長文の空所補充問題が毎年出題されるので、限られた時間内で英文の内容を読み取る力をつける必要がある。
毎年リスニングが出題されるので、リスニング力の増強が必要である。音声を聞くだけでなく、同時に発音して、音と意味を結びつける練習を繰り返すことが大切である。